

第388回 鳥取海区漁業調整委員会議事録

- 1 日時 令和4年10月25日（火）午後2時から午後3時まで
- 2 場所 倉吉シティホテル マーガレット
（鳥取県倉吉市山根543-7）
- 3 出席者 委員：板倉委員、朝日田委員、灘本委員、寺田委員、永田委員、近廻委員
佐々木委員
鳥取県：本田漁業調整課係長
事務局：氏事務局長、西田書記、足立主事

4 議事

- (1) 県外船に対する令和5年漁期鳥取県沖合海域における小型いかつり漁業の許可取扱方針について（諮問）
- (2) 新規の許可等に係る知事許可漁業の制限措置等及び許可の有効期間の短縮について（諮問）
- (3) 令和3年漁業権の活用状況等について（報告）
- (4) その他

5 議事の経過及び結果

事務局が開会を宣言し、板倉会長の挨拶の後、議事に入った。議事録署名委員は会長より佐々木委員と朝日田委員に指名された。

議事1 県外船に対する令和5年漁期鳥取県沖合海域における小型いかつり漁業の許可取扱方針について（諮問）

【原案に同意する旨決議された。】

足立主事が資料1に基づき説明した。

〔板倉会長〕 この枠の5隻以上、漏れた場合は、どういう対応をされるのでしょうか。

〔足立主事〕 予備枠が、今の時点で、10トン未満が5隻、10トン以上が5隻と、それぞれ取っているのですが、それ以上ということになりますと、また、小型いかつり漁業協会に相談をして、承認をいただいて、またこの委員会で同じように諮問をさせていただくという手続が必要になります。

〔板倉会長〕 分かりました。皆さんのほうで、何か御質問等ありませんでしょうか。ないようで

したら、この件に関して了解ということによろしいでしょうか。

〔全委員〕異議なし。

〔板倉会長〕議題1のこの件については了解ということで、ありがとうございました。

議事2 新規の許可等に係る知事許可漁業の制限措置等及び許可の有効期間の短縮について（諮問）

〔原案に同意する旨決議された。〕

足立主事が資料2に基づき説明した。

〔板倉会長〕この案というのは、こういう場合がありますということで理解したらいいのでしょうか。

〔足立主事〕県内者に対する許可についての公示が案1のもので、県外者に対する公示が今回は案2と案3ということで、それぞれ分けて設定をしているということであります。

〔板倉会長〕よろしいでしょうか。それでは、議題（2）の新規の許可に係る知事許可漁業の制限措置等及び許可の有効期間の短縮についての諮問は、事務局の案ということで了解したということにさせていただきます。

議事3 令和3年漁業権の活用状況等について（報告）

西田書記が資料3に基づき説明した。

〔板倉会長〕このへんの報告は組合からデータが出ているのですか。

〔西田書記〕組合から、毎年でています。データを入れてくださいとお願いして、データを出してもらっています。組合は、自分のところの市場に出荷してもらったものを、データとしてまとめてもらって、それを県に報告してもらっているというようなことになります。

〔板倉会長〕分かりました。皆さんのほうで、何か御質問等ありませんでしょうか。

〔氏事務局長〕先ほどの漁業権の話がありましたが、来年の9月に、漁業権の一斉更新があるということで、今、各浜の聞き取り調査をさせてもらっています。いろいろと新しい魚種の要望も出ているようですので、また委員会には諮らせていただいて、漁場計画も諮らせていただきますので、その際は、いろいろと御検討していただくようになると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

〔板倉会長〕そのほかよろしいでしょうか。

〔佐々木委員〕今、組合に所属してなくて、船を持っていたり、遊漁で、魚釣りに行ったりして、魚を市場に出して、結局、漁師が獲った魚の値段が、通常より安くなってしまったりするケースが多くなっていて、前にも、水産事務所で話したのですが、うちは県営だから、拒否は

できないと言うのですよね。そうであれば、もう少しいい制度に新しく変えたらどうかということには言ったのですが。結局、今、サワラでも、鳥取県のTTだったり、島根のSNをつけていたら、トローリングはできるわけです。それを釣って港に帰ってから、箱に詰めて出すわけです。そうしたら、持ってくるものは、断れないと言うので、通常、1キロ1,000円するものも500円になったりするわけです。そういうのを何とかならないかなという意見です。

[氏事務局長] それは、組合員ではない方ですか。

[佐々木委員] 組合員です。だから、僕たちが水産事務所で話したのは、どこどこの組合員という札でもぶら下げて、魚を持ってきたのであれば受けてもいいのですが、ただ、魚釣りに行って、たくさん釣れたからといって、箱に詰めて持ってこられたら、困るのは漁師かなという話です。

[氏事務局長] 水産事務所のほうからも、そういった回答だったと思うのですが、今の法律上では、なかなかそれを断ることができない状況になっています。佐々木さんも言われるように、最近、遊漁の数がすごく伸びていて、夏の白いかのシーズンになると、もう漁業者より、遊漁者が獲って帰るほうが多いのではないかなというような地区もあつたりします。

[佐々木委員] いかとかですね。

[氏事務局長] はい。その辺の対策が必要ではないかという話があります。ただ、遊漁といっても、その漁業者の方が遊漁もやっておられる方もいらっしゃいますし、一概に遊漁を排除するというのは、なかなか難しいです。プレジャーではなくて遊漁船業ですね。遊漁船業を排除するというのはなかなか難しいので、漁業者や遊漁船業の方といろいろ話をして、それぞれ地先のルールも守っていただきたいとか、いろいろな要望があるものですから、来年以降、遊漁のほうの実態調査も、考えてみようかなと思っています。実態をまず知った上で、漁業者の方や遊漁の方とテーブルについていただいて、例えば出入港で結構危なかったりとか、灯火をつけてなかったりとか、その辺のところの実態も、うちのほうで、まず調査して、そこからいろいろ話を進めていこうと思っていますので、もしも何か遊漁に関して、御要望があるということがあれば、漁業調整課に出していただければ、何かそういう機会のときに、また検討ができるので、言っていただければと思います。

[灘本委員] 昔は分からないですが、今はもう、うちのところは、漁協の組合員でないと、漁船登録ができません。漁船登録をしていないと、ひき縄とかはできませんというようになっているのですが、佐々木さんが言われるように、結局、漁業者でない人も、TTの漁船登録がしてある船が幾つかあるわけです。

[氏事務局長] その方々がひき縄で獲って、サワラを詰めて出荷されるということですよね。

[灘本委員] 漁協の准組合員でも、組合員であれば問題はないと思います。何でそういうTTを持っている船があるのかなというのが、私たちにしては疑問であると。

[氏事務局長] そうですね、そういった問題があります。

[灘本委員] 漁協等からすると、TTの登録ができるというのが何かおかしいと思うのです。

[氏事務局長] 境のほうは、昔からそういうことがあるのですか。

〔灘本委員〕なぜかとは思いますが、昔からあることです。

〔佐々木委員〕昔ですが、書類審査だけでした。

〔灘本委員〕登録を受けた船を誰かが買って、元の人がいなくなっても、TTだけは生きていたりとか、そういうことがあるかなと思います。

〔本田係長〕漁業協同組合というのが、どうしても任意加入というところもあって、漁協から出てきた分、当然漁業者なので、登録をさせてもらうのですが、漁協に入っていない、でも、これから漁業をするという方もおられて、そういうときに、事業計画書等を出してもらって、実際には、登録がされています。

〔灘本委員〕それはできるのですか。

〔本田係長〕大々的にできますというふうに宣伝しているわけではないのですが、漁協に入らないとできないということにすると、強制加入でないというところから、なかなか難しいところがあって、そういう問合せがあって、必要書類が出てくれば、登録をしています。でも、実際に、その方が本当に漁業をされているかどうか、そういうところというのは、本当は精査をしていかないといけないというふうには思っているのですが、少なくとも漁船登録番号をつけているということは、漁業をしようという意思を持って、漁船を登録されたというようなことでないかと考えています。

〔灘本委員〕あるということですね。西部とか、そういう地区で。

〔本田係長〕そうですね。それは西部に限らず、東部の所管に関しても、今のところあるということですね。

先ほどの氏課長の説明の補足になるのですが、昔は、海面利用協議会というものを別につくってありまして、それは、漁業者と遊漁者との相互の海面の利用を話し合うための協議会ということで設立していたのですが、平成14年ぐらいだったようです。その頃は、鳥取の沖も、そこまで遊漁が盛んではなく、トラブルもなかったもので、毎年会議をしても、あんまり案件がなかったということで、一旦廃止をして、何かトラブルがあれば、例えば、こちらの委員会が、この間もキジハタの委員会指示をしていただきました。そういうふうに、委員会指示をもって、海面のいろんな制度、ルールを決めることができるので、何か案件があれば、こちらの海区委員会で話をしていくということで、一旦廃止をしたというような経緯があります。

廃止をしてから10年近くたって、最近、遊漁船業が増えてきていますので、まずは、現地のほうで、話し合い等を進めていくのですが、いろいろな調整等があれば、こちらの委員会にも、例えば遊漁船業の代表の方も招致したりしながら、意見交換を深めていって、何らかのルールづくりということも、またお願いするかもしれませんので、よろしくお願いします。

〔灘本委員〕うちのところの漁師さんも、TT登録を見たら、どこの所属なのだろうという感覚なのです。もうどこかに所属していないと、TTはもらえないと思っている人がほとんどなので。すると、見慣れない船があって、TTがついている、これはどこの所属の船がやっているのかというようなことが、浜で話題になったりするので。所属なしでもTTでやっている人もいるということは、ほとんどの人が知らないです。

〔板倉会長〕このプレジャーボートや遊漁の問題は、本当に全国的な問題になっていました。中央の会議に出ても、どこの県もそういうことが出てきて、結構中央に諮問しています。

〔本田係長〕今、板倉会長からお話があったように、全国の漁業調整委員会のほうに、会長に、先日行っていただいて、水産庁等に要望を出させてもらっているのですが、そういった中で、各県のほうから、このプレジャーボートの問題、あと、ミニボートとって、免許なく乗れる分、そういった遊漁とかレジャーが盛んなところでは、大分問題になってきていますので、そういうような話を、水産庁に要望はさせてもらっているところですが、今は、国で何かできるという案件じゃなくて、各地域で、きちんと調整を取るところで、抜本的な解決はないので、お互いにそれぞれの相互理解を深めていかないといけないという状態です。

〔板倉会長〕網代の場合は、港自体が漁港ということで、遊漁船を泊める港ではないということで、遊漁をしたい、船を持ちたい人は、ほとんど准組合員になってもらっています。

〔灘本委員〕うちのところもそうしました。全部レジャーも、准組合員にしました。

〔板倉会長〕組合員にかけては、漁業をするということが大前提なので、年間に10日以上とか、組合員に魚の水揚げをしないと駄目と言っています。一本釣り団体にも、団体のほうにも入らないと、組合員にはなれないということでやっています。

〔灘本委員〕境のほうは広いですからね。

〔板倉会長〕西のほうは、大抵、ある程度、開けているので。

〔灘本委員〕島根もあるし、中海のほうからも出てきます。

〔板倉会長〕今のところ、まだまとまらない問題だと思います。

〔氏事務局長〕遊漁の話は、早かれ遅かれ出てきて、漁業者とも意見交換か何かをしていかないといけないようになっていきます。

〔板倉会長〕遊漁の数も多くなっていますし。

〔氏事務局長〕遊漁者ということになると、ものすごい数になると思います。

〔板倉会長〕遊漁者より、遊漁船の数のほうが多くなっています。

〔本田係長〕遊漁船業者も、コロナの影響で、非常に登録の数も伸びているというところもあって、先ほども言っていた夏のときはシロイカ等、かなり漁場が狭まって、船が多くて危ないようなところもあるみたいなので、お互いに沖で話ができないのであれば、陸で話ができるようにできればと思います。

あとは、先ほどの灘本委員の漁船登録の件は、当然に漁協に入っていて、きちんと海のルールが伝わる状態でやってもらえるとありがたいのですが、過去からの経緯で、そういった登録が幾つかありますので、申し訳ございませんが、一旦御承知いただければと思います。

〔板倉会長〕遊漁船の方は、釣り道具店から何から、経済効果に大いに貢献しているということも言われます。

〔氏事務局長〕結局、遊漁と漁業者には、それぞれルールがあると思うのですが、あんまりそれが共通認識になっておらず、単に分かっていれば守るのだけど、そういうルールを全く知らない感じがあるので、そういったルールをお互いに話して、守っていただくほうがいいのか

などと思います。

〔灘本委員〕 レジャー船等もグループや代表があつて、隣の漁師と話もできるようになればと。

〔氏事務局長〕 確かに、トラブルの件数も増えてきておりますので、またそういったところ、もし何かあれば、連絡いただければと。

〔本田係長〕 先ほど、結構漁業者のほうからも声が上がってきていますし、遊漁船業者さん同士からも上がってはくるのですが、一方的に排除するわけにはならないというところもありますので、実際にどういったことが起きているのかという辺りを見ながら、また皆さんに、いろいろと御意見頂きたいと思いますので、よろしくをお願いします。

6 その他

〔板倉会長〕 皆さんのほうで、その他、何かお聞きしたい点、ありますでしょうか。ないようでしたら進行のほうを替わりたいと思います。

7 閉 会

〔氏事務局長〕 本日は、足元の悪い中、お集まりいただきましてありがとうございました。それでは、本日の委員会を終了したいと思います。皆様、ありがとうございました。

令和4年10月25日

議長会長

署名委員

署名委員